

2003年度決算について

各位

本日開催の取締役会において、2003年度決算(2003年4月1日～2004年3月31日)が確定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2003年度連結決算について

当期の石油製品の総販売数量は前期比235万KL増加し8,618万KLとなりました。
その結果、連結売上高は、前期比2.2%増の4兆2,798億円となりました。
連結経常利益は571億円、総平均法による在庫評価が仕入コストに与える影響(在庫影響:前期+481億円 当期△242億円)を除いた実質的な経常利益は813億円となり、前期比では386億円の増益となりました。
これは、製油所の一部運転停止があったものの、グループ全体でコスト削減・効率化に努めたこと、石油製品等の販売マージンが改善されたことなどによるものです。
特別損益につきましては、前回(3月26日)公表いたしましたとおり、固定資産の減損損失(1,715億円)に加え、特別早期退職制度に伴う加算金の引当(121億円)、関係会社の整理・評価損(97億円)など、2,068億円の損失を計上いたしました。
以上の結果、連結当期損益は、1,335億円の損失となりました。

2003年度連結決算

(単位:億円)

	2002年度	2003年度	増減
売上高	41,874	42,798	+ 924
営業利益	966	559	△ 407
営業外損益	△ 58	12	+ 70
経常利益	908	571	△ 337
(在庫影響除き)	(427)	(813)	(+ 386)
特別損益	△ 266	△ 2,068	△ 1,802
当期利益	323	△ 1,335	△ 1,658

なお、配当につきましては、前回公表どおり[期末配当4円/株 中間配当を含め年間配当7円/株]であり、変更はありません。

2. 2004年度連結決算見通しについて

2004年度の連結売上高は、電力会社向けの需要減等による販売数量の減少により、前期比2.1%減の4兆1,900億円となる見通しです。
来年度は、製油所の運転停止影響が反転することに加え、引き続きグループ全体でコスト削減・効率化に努めることなどにより、連結経常利益は1,250億円、在庫影響(当期△50億円)を除いた経常利益は1,300億円となる見通しです。

連結当期利益は760億円、予想ROEは8.9%程度となる見通しであり、第2次連結中期経営計画(02年度～04年度)の目標を達成できる見通しです。

【前提】原油代 29.7\$/Bbl 円レート 105.0円/\$

2004年度連結決算見通し

(単位:億円)




	2003年度	2004年度	増減
売上高	42,798	41,900	△ 898
営業利益	559	1,220	+ 661
営業外損益	12	30	+ 18
経常利益	571	1,250	+ 679
(在庫影響除き)	(813)	(1,300)	(+ 487)
特別損益	△ 2,068	100	+ 2,168
当期利益	△ 1,335	760	+ 2,095

<第2次連結中期経営計画 02年度～04年度>

	計画	見通し
ROE(04年度)	6.5%	8.9%程度
コスト削減・効率化(3ケ年)	1,000億円	1,020億円
当期利益(04年度)	650億円	760億円
実質有利子負債(04年度末)	9,000億円	8,800億円

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以上

-  [2003年度 連結・単体決算概要](#) (PDF:16KB)
-  [連結貸借対照表要旨](#) (PDF:12KB)
-  [2003年度 連結キャッシュ・フロー計算書 要旨](#) (PDF:12KB)